

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 S D G s 推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 清流の国づくり政策課 S D G s 推進室 S D G s 推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3349) E-mail：c11122@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,561千円 (前年度予算額：6,000千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,000	3,000	0	0	0	0	0	0	3,000
要求額	5,561	2,493	0	0	0	0	0	0	3,068
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 本県では、地方創生の推進自体が、S D G s の達成に向けたプロセスであるとの考えのもと、「清流の国ぎふ」創生総合戦略にS D G s を推進する旨を明記し、各種施策を推進している。
- 国においても、2019年12月に閣議決定した第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「S D G s を原動力とした地方創生を推進する」と明記している。
- こうした中、本県は、2020年7月に内閣府より「S D G s 未来都市」に選定され、同年8月に、「岐阜県S D G s 未来都市計画」を策定した。2030年のあるべき姿「自然と人が創り出す 世界に誇る『清流の国ぎふ』」の実現に向け、環境・経済・社会の3側面から施策を推進している。
- また、県民への普及啓発に加え、2020年4月に県内の企業や団体、市町村、個人等による連携組織として、「『清流の国ぎふ』S D G s 推進ネットワーク (以下「ネットワーク」という。)」を設立した。
- こうした取組みにより、県民の認知度向上や、ネットワーク会員数の増加など、県内でのS D G s に対する関心の高まりが見られるが、今後は、県民一人ひとりの持続可能な社会づくりに向けた行動を促すとともに、会員間の連携促進や活動の活性化を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・ SDGs達成に向けた取組みを「オール岐阜」で推進するため、ネットワークを運営する。
- ・ SDGs達成に向けた機運醸成や意識改革、ノウハウの習得のため、ネットワーク会員を対象に、テーマ別や県内市町村等との合同によるセミナー、相談会、交流会等を開催するほか、有識者による講演や企業・団体、市町村における先進事例を広く県民に紹介するフォーラムを開催し、持続可能な社会づくりに向けた行動につなげる。
- ・ SDGsの推進を訴求するポスター等を作成するとともに、県主催イベント等において、啓発活動を展開する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫負担 1 / 2 [地方創生推進交付金]

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	886	セミナー、フォーラム講師謝金
旅費	273	講師等費用弁償：273,000円
需用費	280	消耗品費
役務費	87	通信運搬費
委託料	3,826	普及啓発物作成業務：752,000円 フォーラム企画運営：3,074,000円
使用料	209	セミナー会場借り上げ
合計	5,561	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

<創生総合戦略での位置づけ>

- ・ 創生総合戦略には、『「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むSDGsの達成など国を挙げた取組みとも軌を一にして取り組んでいく必要がある。』と記載しているほか、政策の方向性に関連したSDGs 17のゴールのアイコンも明記している。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

「清流の国ぎふ」創生総合戦略の終期（2023年度末）を目途に、県民や市町村、企業のSDGsの認知度を向上させるとともに、SDGs達成に向けた具体的な行動に繋げる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	
	(R1)	実績	目標	目標		達成率
① 「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」への県内市町村加入率	30.9% (R1)	100% (R2)	—	—	100% (R5)	100%
② ネットワーク会員数	0 (R1)	639 (R2)	900 (R3)	1200 (R4)	1200 (R4)	53.3%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>【取組内容】SDGs推進ネットワークを運営し、会員向けセミナーを開催するとともに、広く県民も対象としたフォーラムを開催。</p> <p>[実績] セミナー R2（圏域別）：5圏域 288人参加 フォーラム R2：120人参加</p> <p>【成果】ネットワーク会員数は、現在は800会員を超え（R3.10.1現在）、1年余りで当初に設定したR3年度目標の700会員を達成したため、今年度R3年度900、R4年度1200に上方修正。R3年県政モニターアンケートでは、SDGsの認知度が、昨年の52.9%から80.4%まで向上。</p>
令和3年	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>国の「まち・ひと・しごと創生基本方針 2021」において、「地方創生SDGsの実現」が項目立てされ、実現に向けた具体的取組が明記されている。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	<p>KPIはいずれも目標を達成しており、また、県民の認知度も大幅に向上しており、期待以上の成果があったと認められる。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>国や市町村が行う普及啓発事業と重複しないよう事業を実施するとともに、セミナー等は他自治体等と連携して開催する。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>県民の認知度向上やネットワーク会員数の増加が図られたが、今後は、県民一人ひとりの持続可能な社会づくりに向けた行動を促すとともに、ネットワーク会員間の連携促進や活動の活性化を図っていく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>県民一人ひとりに行動につなげるため、SDGsを知り、学び、体験し、共感できる場を創出する。また、会員に対しては、交流や連携を促進し、活動の活性化を図っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	